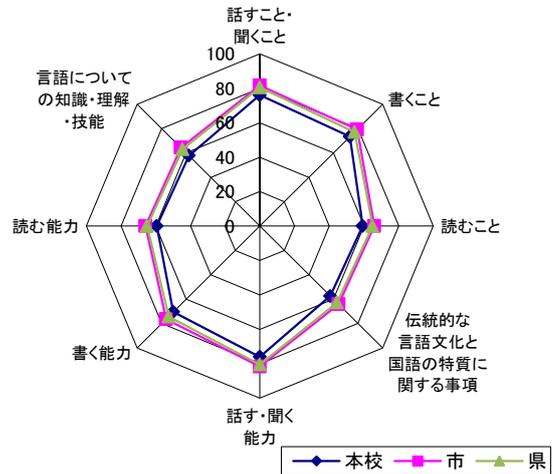


# 宇都宮市立鬼怒中学校第2学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	76.0	81.6	80.5
	書くこと	73.4	79.4	77.2
	読むこと	59.3	65.9	65.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.5	64.2	62.8
観点	話す・聞く能力	76.0	81.6	80.5
	書く能力	70.6	76.4	74.3
	読む能力	59.3	65.9	65.0
	言語についての知識・理解・技能	57.8	64.4	63.0



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○司会者の討論の進め方の工夫についての理解を問う問題では、正答率が県平均を上回り、市平均と同等である。 ●質問を正確に聞き取り、それに対する適切な発言を考えさせる問題では、正答率が市・県平均を大きく下回る。	・学習活動の中に、聞き取りや話し合いの時間を意図的に設定し、情報を正確に聞き取る力を付けさせる。 ・人の話にきちんと耳を傾ける態度と雰囲気、醸成する。
書くこと	○字数や段落構成・根拠の明確化などの条件を守って文章を書くことに関しては、正答率は市・県平均とほぼ同等である。 ●文章の内容をまとめることに関しては、正答率が6～9ポイント、市・県平均より下回っている。	・説明文の読解指導に際して、要約の時間を多く取り、内容を的確に簡潔にまとめる力を、身につけさせる。
読むこと	○説明的な文章(報道文)の内容を正確に把握したり、必要な情報を読み取る問題では、正答率が市・県平均とおおむね同等である。 ●文学的文章の読解において、登場人物の行動や心情、情景描写などに注意して読む問題では、正答率が市・県平均を下回る。	・文学的作品の読解において、心情豊かに内容を読み取る練習を繰り返す。 ・読書の機会をもっと増やし、生徒自身の心根を豊かにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読みに関する問題の正答率は、おおむね県平均と同等である。 ●漢字の書き取りや歴史的仮名遣い、部首などの問題においては、正答率が市・県平均を下回る。	・古文の読解を通して、歴史的仮名遣いに慣れさせる。 ・歴史的な美文や著名な作品の一部を暗唱させ、伝統的な言語文化を身につけさせる。 ・小テストを定期的実施し、漢字の書き取りの力を付けさせる。